

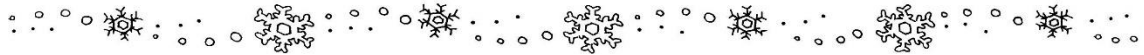


青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和4年度 第206号 1月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

11月19日(土)に開催された第19回信州“教育の日”青木大会にて、青木村の教育について紹介する機会がありました。小学校の島脇教頭先生にその様子をお聞きしました。



第19回 信州“教育の日”青木大会 『学びの発表』について

保小中一貫教育委員会事務局 島脇 謙（青木小学校教頭）

『学びの発表①』では『青木村の教育～村の子どもは村で育てる～』、『学びの発表②』では『ふるさとの思いを受け継ぐ！！ 義民太鼓への取り組み』について、YouTube を利用し、多くの方に視聴していただきました。作成の中心となった小学校の宮下瑞穂先生、中学校の北澤潤一先生から内容を紹介してもらいます。

学びの発表①『青木村の教育～村の子どもは村で育てる～』

学びの発表①では、大きく2つのことについて紹介しました。

(1) 青木村の教育方針

青木村では、子どもたちを村の宝として、大切に育てていこうという理念のもと、「心豊かでたくましい子どもの育成」を目指して教育委員会・保育園・小学校・中学校や保護者の方・地域の方が連携・協力しながら、日々教育活動に取り組んでいます。

(2) 重点の内容

目標を実現していくために5つの重点があります。発表では、具体的な活動を例に紹介しました。



重点①保小中一貫教育



行事や交流を通して移行支援
子ども達が次への見通しがもてる活動

重点②多様な他者や自然とのかかわり



地域の方との交流や青木村の自然とのかかわり
人と人がつながる社会力の育成

重点③学力・体力の向上



子ども達の実態に合わせた授業づくり・研修
学力や体力の向上を目指す

地域や家庭の協力もあり、青木村の子どもたちは元気に登校することができます。これからも、村をあげての取り組みを継続していきます。子どもたちの実態に合った継続的な取り組みをしていくために、今後も保小中一貫教育推進委員会で保育士・教員・PTA が連携を図り、その時々課題を共有し、一歩ずつ村の教育を進めていきます。最後に…

近年行うことができていない活動もありますが、青木村では村独自の行事があり、私た

ち職員も日頃より貴重な体験をさせていただいています。これからも素敵なお縁を大切に
し、教育活動に励んでいきたいと考えています。

学びの発表②『ふるさとの思いを受け継ぐ！！ 義民太鼓への取り組み』

「青木村＝義民太鼓」ということで、保育園、小学校そして中学校につながる義民太鼓への取
り組みを発表しました。中学校では文化祭での発表に向けて約 3 ヶ月かけて保存会の皆様から
義民太鼓を教えてくださいました。練習を通して成長していく生徒の姿を【振り返りカード】の
感想から、また、指導者の方の言葉から発表しました。

「練習を重ねてうまくなり 義民の魂がついてきた！」

生徒たちの練習の様子から「ふるさとの思いを受
け継ぐ」という意味もわかってきました。

「受け継ぐ 義民の志を 発揮する」

本番前の気合いの入った円陣、そして、いざ本番。
義民の心が見ている観客にも伝わりました。学びの
発表②を見てくださった方々の心にも、義民の志を
受け継いだ中学生の様子が伝わっているとうれしい
です。

【義民太鼓に参加した生徒談、
振り返りカードより】

・ご指導いただく中で、自分の中にも変化
を感じました。 その変化は、積極的にな
ることや自信をもつこと、感謝を忘れない
など、様々な部分でとても成長することが
できました。

・失敗を恐れてはいけないという言葉に何
度も救われました。おかげで自信がついた
し、さらに強く叩くことができました。自
分で義民について考えて表現したり、自
分からあいさつをしたりと人間性を高めて、
自分自身、成長できたと感じました。

学びの発表①②を視聴した方々の感想です。

「義民の精神が脈々と受け継がれる自立の村、青木。
学ぶことがたくさんありました。」

「村の子どもは村で育てる精神。気概を感じました。」

「人づくりに力を入れている青木村の良さがわかる発表
でした。」

「中学生の義民太鼓の発表がすごかった。村を守った義
民の思いは中学生に伝わっている。」

「保育園・小学校・中学校そして地域が連携して子ども
を育てている。私の学校も見習いたい。」

「長年の教育活動が伝統となっていて成果が出ている。継続の大切さがわかった。」
青木村の教育に携わっている職員として、うれしい感想が多かったです。



大会は終了しましたが、大会の様子は YouTube で配信されています。

まだ、視聴されていない方は、是非ご覧ください。私たちが何をすれば子どもたちが育つか
がわかると思います。これからも、みんなで協力して子どもたちを育てていきましょう。



編)集)後)記) 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく

お願いいたします。通学合宿がテーマの座談会の様子は来月号でお伝えします。

